

令和3(2021)年度  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

事業報告及び決算書

公益財団法人 倉敷考古館

## 倉敷考古館 令和3年度事業報告

### 1. 遺物の蒐集及び展観（定款 第四条の1）

#### 1) 常設展

旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代の考古資料を、古代吉備の国の歴史の流れがわかるように常設展示を行った。

#### 2) 企画展

- ・「久遠の祈り」土偶、銅鐸、瓦経など各時代の祭祀にかかわる資料を展示した。
- ・「縄文をひもとく」里木貝塚の縄文土器を中心として展示した。
- ・「吉備の鬼語り」古代から近代の鬼瓦と、祭礼用の鬼面や衣装を展示した。

#### 3) 考古資料、関連画像の貸し借り

ポプラ社、国華社、徳島県立博物館、尼崎市立田能資料館、縄文 ZIN、岡山シティミュージアムに画像の貸し出しを行い、岡山理科大学、備前焼ミュージアム、岡山大学に資料貸出を行った。また倉敷市、吉備寺、茶屋町の鬼保存会より展示資料を借り受けた。

### 2. 遺物の保管並びに保管の受託（定款 第四条の2）

調査希望の多い資料から報告書との照らし合わせ整理や寄贈された関連図書の入力整理を行った。

### 3. 遺跡・遺物の調査及び研究(定款 第四条の3)

駒沢大学、岡山大学、京都大学、岡山理科大学、大阪大学、同志社大学、立命館大学、岡山市教育委員会、佐賀県教育委員会、奈良文化財研究所の研究者や学生からの考古資料熟覧に対応した。

### 4. 考古学に関する印刷物の刊行（定款 第四条の4）

考古館パンフレットを作成した。

### 5. 考古学に関する集会、講演会（定款 第四条の5）

団体見学に対して館内レクチャーを行い、小学校で出前講座や、考古館を会場とした講座博物館実習生や企業研修の受け入れ、また展示会に伴うミニ講座を行った。

### 6. その他必要な事業

連携大学の事業に協力し、倉敷市との連携事業として日本遺産関連のPRを行った。

7. 入館者の状況

年間 開館日数 203 日  
 同 休館日数 162 日

年間 入館者総数 1,715 名  
 一日平均の入館者数 8 名

※緊急事態宣言発出のため臨時休館 5/16～5/31、6/1～6/20、8/27～9/12  
 ※企画展の展示替えのため臨時休館 4/21～4/28、9/29～10/3、3/1～3/6  
 ※まん延防止等重点措置期間中の臨時休館 2/2・9・16

(1) 月別の入館者数

月別	令和3年度	令和2年度	平成31(令和1)年度
4月	57	16	199
5月	72	0	425
6月	20	74	205
7月	174	286	177
8月	142	192	481
9月	66	140	278
10月	242	174	335
11月	270	225	381
12月	239	113	119
1月	152	91	227
2月	108	137	350
3月	173	151	106
合計	1,715	1,599	3,283

(2) 入館者種別の人数と入館料

種類別	入館料 (円)	人数	金額 (円)
一般	500	804	402,000
〃 団体	400	203	81,200
小計		1,007	483,200
大学・高校生	400	143	57,200
〃 団体	320	1	320
小計		144	57,520
中学・小学生	300	92	27,600
〃 団体	240	107	25,680
小計		199	53,280
いきいきパスポート	150	18	2,700
JTB電子クーポン	400	8	3,200
GoToトラベル事業	一時事業停止	0	0
学校メンバーズ制度	年会費制	5校	275,000
学校メンバーズ入館者		47	-
招待券等無料入館者	-	115	-
考古館民藝館共通券	1200	13	(考古館分) 4,000
JRぐるりんパス	-	133	-
日本旅行各ツアー		31	38,000
合計		1,715	916,900

展覧会名	入館者総数	期間
倉敷民藝館との連携展 『久遠の祈り』	73	R. 2. 11/18～R3. 4/18
企画展 繊維利用の考古学 『縄文をひもとく』	480	4/29～6/13 延長 ～9/26
企画展 『吉備の鬼語り』	1,011	10/6～R. 4. 2/27

JR岡山・倉敷ぐるりんパス（令和3年1月分から令和3年12月分まで）

	JRの販売枚数	金額（円）
大人	1,280枚	149,760
小人	50枚	2,700
合計	1,330枚	152,460

8. 刊行物等販売状況

種別	数量	金額（円）
解説	14	4,200
リーチ展図録	3	600
河井寛次郎展図録	1	200
絵ハガキ	99	3,110
絵ハガキセット	2	300
研究集報1号～22号	13	16,000
拓本 大・小	30	4,800
A4クリアファイル	5	500
チケットケース	6	600
一筆箋	4	800
合計		31,110

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
入館料	1,069,360	1,022,708	46,652
刊行物等収入	31,110	66,370	△ 35,260
手数料収入	169,900	162,800	7,100
寄付金収入			
受取寄付金	1,718,000	4,518,130	△ 2,800,130
補助金収入			
受取補助金	2,076,453	2,487,295	△ 410,842
雑収益			
受取利息	17	21	△ 4
資料貸与料	529,000	869,000	△ 340,000
雑収入	0	1,382,700	△ 1,382,700
経常収益計	5,593,840	10,509,024	△ 4,915,184
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	0	4,297,120	△ 4,297,120
福利厚生費	28,253	843,558	△ 815,305
人件費	2,571,854	529,975	2,041,879
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	87,138	74,960	12,178
消耗品費	198,000	0	198,000
光熱水料費	160,565	0	160,565
什器備品費	0	0	0
修繕費	0	672,100	△ 672,100
賃借料	0	0	0
警備費	132,000	396,000	△ 264,000
印刷製本費	22,031	0	22,031
諸謝金	0	0	0
調査整理費	0	0	0
リース料	592,902	678,262	△ 85,360
減価償却費	47,178	47,178	0
クラスター事業費	0	8,180	△ 8,180
業務委託費	0	1,382,700	△ 1,382,700
雑費	134,126	217,892	△ 83,766
管理費			
給料手当	0	1,074,280	△ 1,074,280
福利厚生費	7,063	210,890	△ 203,827
人件費	642,963	132,494	510,469
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	21,784	18,740	3,044
消耗品費	174,503	101,142	73,361
光熱水料費	40,141	220,857	△ 180,716
賃借料	0	0	0
リース料	148,226	169,566	△ 21,340
保険料	55,510	73,520	△ 18,010
図書新聞代	0	0	0
雑費	33,532	54,473	△ 20,941
経常費用計	5,097,769	11,203,887	△ 6,106,118
評価損益等調整前当期経常増減額	496,071	△ 694,863	△ 198,792
所蔵品評価損益	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	496,071	△ 694,863	△ 198,792
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	496,071	△ 694,863	△ 198,792
一般正味財産期首残高	18,669,786	19,364,649	△ 694,863
一般正味財産期末残高	19,165,857	18,669,786	496,071
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,165,857	18,669,786	496,071

正味財産増減計算書内訳表  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>											
<b>1. 経常増減の部</b>											
(1)経常収益											
事業収益											
入館料	1,069,360			1,069,360							1,069,360
刊行物収入	31,110			31,110							31,110
手数料収入	169,900			169,900							169,900
寄附金収入											
受取寄付金	1,718,000			1,718,000							1,718,000
補助金収入											
受取補助金	952,731			952,731					1,123,722		2,076,453
雑収益											
受取利息	17			17							17
資料貸与料	529,000			529,000							529,000
雑収入	0			0							0
<b>経常収益計</b>	<b>4,470,118</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,470,118</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,123,722</b>	<b>0</b>	<b>5,593,840</b>
(2)経常費用											
事業費											
給料手当	0			0							0
福利厚生費	28,253			28,253							28,253
人件費	2,571,854			2,571,854							2,571,854
旅費交通費	0			0							0
通信運搬費	87,138			87,138							87,138
消耗品費	198,000			198,000							198,000
光熱水料費	160,565			160,565							160,565
什器備品費	0			0							0
修繕費	0			0							0
賃借料	0			0							0
警備費	132,000			132,000							132,000
印刷製本費	22,031			22,031							22,031
諸謝金	0			0							0
調査整理費	0			0							0
リース料	592,902			592,902							592,902
減価償却費	47,178			47,178							47,178
クuster事業費	0			0							0
業務委託費	0			0							0
雑費	134,126			134,126							134,126
管理費											
給料手当									0		0
福利厚生費									7,063		7,063
人件費									642,963		642,963
旅費交通費									0		0
通信運搬費									21,784		21,784
消耗品費									174,503		174,503
光熱水料費									40,141		40,141
賃借料									0		0
リース料									148,226		148,226
保険料									55,510		55,510
図書新聞代									0		0
雑費									33,532		33,532
<b>経常費用計</b>	<b>3,974,047</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,974,047</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,123,722</b>	<b>0</b>	<b>5,097,769</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	496,071	0	0	496,071	0	0	0	0	0	0	496,071
評価損益等計	0			0					0		0
当期経常増減額	496,071	0	0	496,071	0	0	0	0	0	0	496,071
<b>2. 経常外増減の部</b>											
(1)経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用											
経常外費用計	0			0					0		0

当期經常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0			0				0			0
当期一般正味財産増減額	496,071	0	0	496,071	0	0	0	0	0	0	496,071
一般正味財産期首残高	18,669,786			18,669,786				0	0		18,669,786
一般正味財産期末残高	19,165,857	0	0	19,165,857	0	0	0	0	0	0	19,165,857
<b>II 指定正味財産増減の部</b>											
当期指定正味財産増減額				0				0			0
指定正味財産期首残高	0			0				0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	19,165,857	0	0	19,165,857	0	0	0	0	0	0	19,165,857

## 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位 円)

科目	前年度決算額	決算	差額	備考
I. 資産の部				
1. 流動資産				
普通預金	2,166,192	1,348,817	▲ 817,375	
定期預金	0	0	0	
流動資産合計	2,166,192	1,348,817	▲ 817,375	
2. 固定資産				
基本財産				
土地	4,052,000	4,052,000	0	
建物	2	2	0	
所蔵品	93,765	93,765	0	
特定資産				
所蔵品	13,258,000	13,258,000	0	
修繕引当預金	22,076	0	▲ 22,076	
その他の固定資産				
備品	44	44	0	
建物付属設備	460,407	413,229	▲ 47,178	
固定資産合計	17,886,294	17,817,040	▲ 69,254	
資産合計	20,052,486	19,165,857	▲ 886,629	
II. 負債の部				
1. 流動負債				
預り金	0	0	0	
未払金	1,382,700	0	▲ 1,382,700	
流動負債合計	1,382,700	0	▲ 1,382,700	
2. 固定負債				
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	1,382,700	0	▲ 1,382,700	
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	18,669,786	19,165,857	496,071	
(うち基本財産への充当額)	(4,145,767)	(4,145,767)	0	
(うち特定資産への充当額)	(13,280,076)	(13,258,000)	(22,076)	
正味財産合計	18,669,786	19,165,857	496,071	
負債及び正味財産合計	20,052,486	19,165,857	▲ 886,629	



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし。

(2) 固定資産の減価償却について  
法人税法に定める定率法又は旧定率法によっている。

(3) 引当金の計上基準  
期末要支給額により計上している。

(4) 消費税等の会計処理  
当課税期間は免税事業者である。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	4,052,000	0	0	4,052,000
建物	2	0	0	2
所蔵品	93,765	0	0	93,765
小計	4,145,767	0	0	4,145,767
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	0	13,258,000
修繕引当預金	22,076	0	22,076	0
小計	13,280,076	0	22,076	13,258,000
合 計	17,425,843	0	22,076	17,403,767

### 3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土地	4,052,000	0	4,052,000	0
建物	2	0	2	0
所蔵品	93,765	0	93,765	0
小計	4,145,767	0	4,145,767	0
特定資産				
所蔵品	13,258,000	0	13,258,000	0
小計	13,258,000	0	13,258,000	0
合 計	17,403,767	0	17,403,767	0

4. 担保資産の有無について  
該当無し。

### 5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、当期末残高について

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,404,000	2,403,998	2
備品	1,199,375	1,199,331	44
建物付属設備	704,160	290,931	413,229
合 計	4,307,535	3,894,260	413,275

6. 保証債務  
該当無し。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当無し。

8.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
一時支援金	経済産業省	0	600,000	600,000	0	
倉敷市新型コロナウイルス対策取組宣言促進事業費補助金	5商工団体コロナ対策協議会	0	14,000	14,000	0	
倉敷市事業継続支援金	倉敷市	0	200,000	200,000	0	
月次支援金 5月分～10月分	経済産業省	0	1,118,453	1,118,453	0	
令和3年度倉敷観光コンベンションビューロー安心して過ごせる観光地づくり推進事業費補助金	倉敷市観光コンベンションビューロー	0	144,000	144,000	0	
合 計		0	2,076,453	2,076,453	0	

9.その他

財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。

# 財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金としている。	255,838	
	預金	普通預金 中国銀行倉敷駅前支店	運転資金としている。	1,065,771	
		ゆうちょ銀行 振替口座	運転資金としている。	27,208	
流動資産合計				1,348,817	
(固定資産)	基本財産	土地	119.08㎡ 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。	4,052,000
		建物	164.13㎡ 鉄筋3階建 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の事業施設に供している。	1
			26.17㎡ 倉庫など 倉敷市中央一丁目3-13	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。	1
	所蔵品	縄文土器など84点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している 不可欠特定財産である。	93,765	
	特定資産	所蔵品	銅剣など 2,007点	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。	13,258,000
	その他の 固定資産	備品	展示ケースなど44個	公益目的保有財産であり、展示事業に供している。	44
		建物付属設備	倉敷市中央一丁目3-13 建物の電気設備工事	公益目的保有財産であり、資料収集・展示等の管理施設に供している。	413,229
固定資産合計				17,817,040	
資産合計				19,165,857	
(流動負債)					
流動負債合計				0	
(固定負債)					
固定負債合計				0	
負債合計				0	
正味財産				19,165,857	

## 公益目的保有財産の明細

財産種類別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の公益目的保有財産	使用事業
所蔵品	考古学資料84点 縄文時代資料65点 弥生時代資料5点 古墳時代資料12点 江戸時代資料1点 中国考古資料1点			公益目的事業
合計	93,765			